

## 東洲斎写楽と歌川豊国の役者絵の数量分析

村上 征勝

同志社大学文化情報学部

浦部 治一郎

同志社大学文化情報学部

絵画に描かれた物、人物などの形を数量的に分析した研究は少ない。この小論では、浮世絵師の東洲斎写楽と歌川豊国の描いた歌舞伎役者の顔の形状を数量的な観点から比較分析し、二人の顔の描き方の差異を明らかにすることで、東洲斎写楽と歌川豊国が同一人物である可能性は少ないことを示す。

### A Quantitative Analysis on Ukiyo-e of Kabuki Actor Faces Drawn by Syaraku and Toyokuni

Masakatsu Murakami

Faculty of Culture and Information Science

Doshisha University

Jiitirou Urabe

Faculty of Culture and Information Science

Doshisha University

There are few researches on analyzing the shape of objects or figures in paintings with a quantitative method. This paper focuses on comparing different patterns of shapes of Kabuki actor faces drawn by two representative Japanese painters, Syaraku and Toyokuni, based on a statistical approach. The results derived from principle component analysis of measurement data have revealed the main differences in drawing techniques between two painters' works, and also led a conclusion that Syaraku and Toyokuni should be different painters.

#### 1. まえがき

柳亮は絵画に描かれたものの形状や、彫刻、建築物などの形状の美しさを黄金比の観点から分析している[1][2]。

また山田らは浮世絵に描かれた顔の形状を主に数量的な観点から分析している[3]。

しかし、絵画、彫刻、建築物などの形状に関するアナログ情報を、どのようにデジタル化し数量的に分析するかに関する研究は少ない。

この小論では、浮世絵師の東洲斎写楽と歌川豊国の描いた歌舞伎役者の顔の形状を数量的な観点から比較し、二人の顔の描き方の差異という視点から、東洲斎写楽と歌川豊国が同一人物であるという説を検討する。

#### 2. 東洲斎写楽に関する疑問

江戸時代の代表的な浮世絵師の一人が東洲斎写楽である。明治43年(1910)に、ユリウス・クルト(Julius

Kurth)は写楽をベラスケス、レンブラントと並ぶ世界三大肖像画家として紹介しており、写楽の絵は西洋の画家にも大きな影響を与えたといわれる。

写楽は百数十枚の役者絵・相撲絵を残している。しかし、これらの浮世絵は寛政6年(1794)5月からわずか10ヶ月の間に描かれており、写楽の足跡はそれ以前もそれ以後も不明である。このため写楽という名は仮名であり、描いたのは別の人物ではないかという説が出されてきた。

写楽の候補としては、写楽と同時代に活躍した浮世絵師の喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川豊国、歌舞妓堂艶鏡、戯作者の山東京伝、十返舎一九、能役者の斉藤十郎兵衛など、多くの人物が挙げられている。

哲学者の梅原猛は歌川豊国(1769—1825)の可能性について、作品の類似性、突然の出現と消滅の理由、なぜ仮名にしなけりばならなかったのかなどの観点から検討している[4]。

表 1. 分析に使用した絵

番号	絵師・役者名		参考図録	作品 番号	巻頭カラー の番号/ 顔の向き (対面)
1	豊 二代目坂東三津五郎 A	役者舞台之姿絵・やまと屋 (二代目坂東三津五郎の石井源蔵)	写楽仮名の悲劇		12/右
2	写 二代目坂東三津五郎 A	二代目坂東三津五郎の石井源蔵 (東京国立博物館蔵)	全集浮世絵版画4 「写楽」	2	11/右
3	豊 三代目市川八百蔵 B	役者舞台之姿絵・たち花や (三代目市川八百蔵の不破伴左衛門)	写楽仮名の悲劇		16/右
4	写 三代目市川八百蔵 B	三世坂田半五郎の子育観音坊と三世市川八百蔵の 不破伴左衛門(シカゴ美術館蔵)	全集浮世絵版画4 「写楽」	33	/右
5	豊 三代目瀬川菊之丞 1	役者舞台之姿絵・はま村や (三代目瀬川菊之丞の傾城かつらぎ)	写楽仮名の悲劇		18/左
6	豊 三代目瀬川菊之丞 2	三代目瀬川菊之丞	写楽仮名の悲劇		35/右
7	写 三代目瀬川菊之丞 1	三代目瀬川菊之丞の石井源蔵妻千束	写楽仮名の悲劇		34/右
8	写 三代目瀬川菊之丞 2	三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	全集浮世絵版画4 「写楽」	4	/右
9	写 三代目瀬川菊之丞 3	三世沢村宗十郎の名古屋山三と 三世瀬川菊之丞の傾城かつらぎ	全集浮世絵版画4 「写楽」	17	/右
10	写 三代目瀬川菊之丞 4	三代目瀬川菊之丞の傾城かつらぎ	全集浮世絵版画4 「写楽」	18	17/左
11	写 三代目瀬川菊之丞 5	三世瀬川菊之丞の仲居おはま (東京国立博物館蔵)	全集浮世絵版画4 「写楽」	46	/左
12	豊 三代目沢村宗十郎 1	役者舞台之姿絵・きのくにや (三代目沢村宗十郎の名古屋山三)	写楽仮名の悲劇		20/左
13	豊 三代目沢村宗十郎 2	役者舞台之姿絵・きの国や (三代目沢村宗十郎の孔雀三郎)	写楽仮名の悲劇		27/右
14	豊 三代目沢村宗十郎 3	三代目沢村宗十郎の大星由良之助	写楽仮名の悲劇		33/右
15	写 三代目沢村宗十郎 1	三代目沢村宗十郎の大岸蔵人	全集浮世絵版画4 「写楽」	5	13/左
16	写 三代目沢村宗十郎 2	三代目沢村宗十郎の名護屋山蔵	写楽仮名の悲劇		19/左
17	写 三代目沢村宗十郎 3	三世沢村宗十郎の大伴黒主	全集浮世絵版画4 「写楽」	40	/左
18	豊 四代目岩井半四郎 E	役者舞台之姿絵・やまとや (四代目岩井半四郎の菊水) (MOA美術館蔵)	写楽仮名の悲劇		31/左
19	写 四代目岩井半四郎 1	四世岩井半四郎の田舎娘 (シカゴ美術館蔵)	全集浮世絵版画4 「写楽」	44	/左
20	写 四代目岩井半四郎 2	三世坂東彦三郎の帯屋長右衛門と 四世岩井半四郎の信濃屋お半(シカゴ美術館蔵)	全集浮世絵版画4 「写楽」	37	/左
21	写 四代目岩井半四郎 3	四世岩井半四郎の田舎娘	全集浮世絵版画4 「写楽」	24	/右
22	豊 三代目大谷鬼次 F	役者舞台之姿絵・まさつや (三代目大谷鬼次の斧定九郎) (リッカー美術館蔵)	写楽仮名の悲劇		39/左
23	写 大谷鬼次 1	三代目大谷鬼次の奴江戸兵衛 (東京国立博物館蔵)	全集浮世絵版画4 「写楽」	12	/右
24	写 三代目大谷鬼次 2	市川男女蔵の関取雷鶴之助と 二世大谷鬼次の浮世土平(ギメ美術館蔵)	全集浮世絵版画4 「写楽」	35	/右
25	写 三代目大谷鬼次 3	二世大谷鬼次の川島治部五郎 (東京国立博物館蔵)	全集浮世絵版画4 「写楽」	39	/右

### 3. 浮世絵の数量分析の現状

山田らは前述の研究[3]で、菱川師宣、西川祐信、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川豊国、溪斎英泉、歌川国芳の9人の浮世絵師が描いた女性の顔53点を対象として、浮世絵師による顔の描き方の違いを数量的な観点から分析し、絵師ごとの顔の描き方の差異をある程度把握することに成功している。

しかしながら、同じ絵師でも男性の顔を描く場合と女性の顔を描く場合では描き方が異なるのではないかと、あるいは浮世絵に描かれた顔の多くは斜め横向きであるが右向きの顔と左向きの顔では描き方が異なるのではないかと等、検討すべき課題は多く残されている。

もし同じ絵師でも男性の顔と女性の顔の描き方が異なるなら、歌麿、北斎などの美人画に描かれた女性の顔と写楽の役者絵に描かれた男性の顔の比較は難しくなる。

筆者たちが行った写楽の役者絵の分析では、女形と立ち役(男形)とでは顔の描き方に違いがあるという分析結果が得られている[未発表]が、そのようなことを考えると、現時点では写楽の描いた役者の顔と北斎や歌麿などの描いた女性の顔の比較分析は難しいといえる。

ただ豊国に関しては、写楽が描いた役者と同じ人物を描いた役者絵が、ある程度残っており、数量的な比較分析が可能である。そこでこの分析では、それらの役者絵を用い、二人の顔の描き方を検討する。

### 4. 分析に用いた浮世絵

分析に用いたのは写楽と豊国が描いた6人の歌舞伎役者の顔(写楽16点、豊国9点)である。描かれた歌舞伎役者名は表1の通りである。分析ではまずスキャナーで絵をコンピュータに取り込み、次に顔の向きを同一方向にそろえた後に計測を行なった。

### 5. 顔の描き方の数量的把握

研究[3]の中で、著者は図1に示した顔の部位37箇所の位置を測定し、これらの測定点の中の3点から作られる角度の情報を用い、絵師の描き方の違いを調べた。

この研究で分析に用いたのは表1に示す12種類の角度である。この角度情報を相関行列を用いた主

成分分析で分析し、9人の絵師の描いた顔の形状の違いを明らかにしている。

本研究の目的は、写楽と豊国の歌舞伎役者の顔の描き方の違いを数量的観点から検討する点にあるが、分析には研究[3]の女性の顔の分析に用いた37箇所の測定点から求めた12種類の角度(表2)を用いることとした。

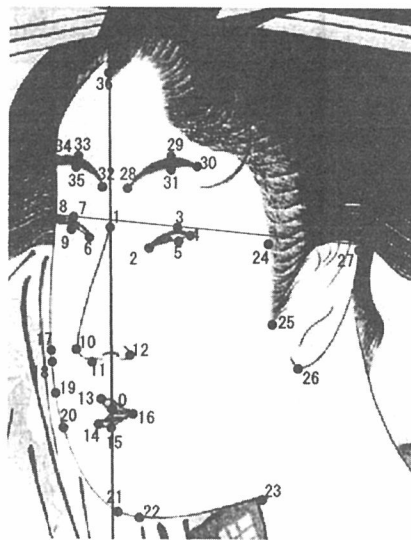


図1. 顔の計測点(37点)

表2. 計測に用いた角度

角度(変数)	角度を構成する3点
角度2	32, 0, 28
角度8	33, 1, 29
角度10	6, 0, 2
角度11	7, 0, 3
角度12	1, 10, 12
角度13	10, 0, 12
角度16	1, 17, 0
角度17	1, 17, 21
角度20	1, 16, 0
角度21	1, 26, 21
角度23	1, 25, 21
角度27	1, 10, 11

6. 分析結果

図2は、12種類の角度のデータを用いた主成分分析(相関行列)の結果である。第一主成分の寄与率は0.358、第二主成分の寄与率は0.223で、第二主成分までの累積寄与率は0.581である。

この図2を見ると、写楽の描いた顔と豊国の描いた顔は大きく二つのグループに分けることができる。写

楽の描いた顔と豊国の描いた顔では、第2主成分の値に違いが見られる。第2主成分は顔の横向きの程度を示す変数と考えられ、横向きの程度が大きくなると第2主成分の値は大きくなる。したがって写楽の描く顔の方が豊国の描く顔より横向きの角度より大きいといえる。個々の役者ごとに二人の描いた顔を比較しても、同様の事がいえる。ちなみに第1主成分は顔の

表3. 主成分分析結果

	第1主成分	第2主成分	第3主成分	第4主成分	第5主成分
角度2	-0.139	-0.434	0.386	0.000	0.000
角度8	0.000	-0.103	0.644	0.231	0.301
角度10	0.140	-0.445	-0.131	0.354	-0.470
角度11	0.422	-0.150	-0.154	0.133	-0.117
角度12	-0.363	-0.236	0.000	0.349	-0.329
角度13	0.394	0.000	0.163	0.000	-0.215
角度16	0.000	0.532	0.000	0.212	-0.229
角度17	-0.205	0.396	0.353	0.000	-0.339
角度20	-0.349	0.000	0.322	0.164	-0.273
角度21	-0.372	-0.203	-0.234	0.000	0.344
角度23	-0.362	0.000	-0.264	0.294	0.158
角度27	-0.243	-0.198	0.000	0.718	-0.361
寄与率	0.3581109	0.2232580	0.1279056	0.0685169	0.0659541
累積寄与率	0.3581109	0.5813689	0.7092745	0.7777914	0.8437455

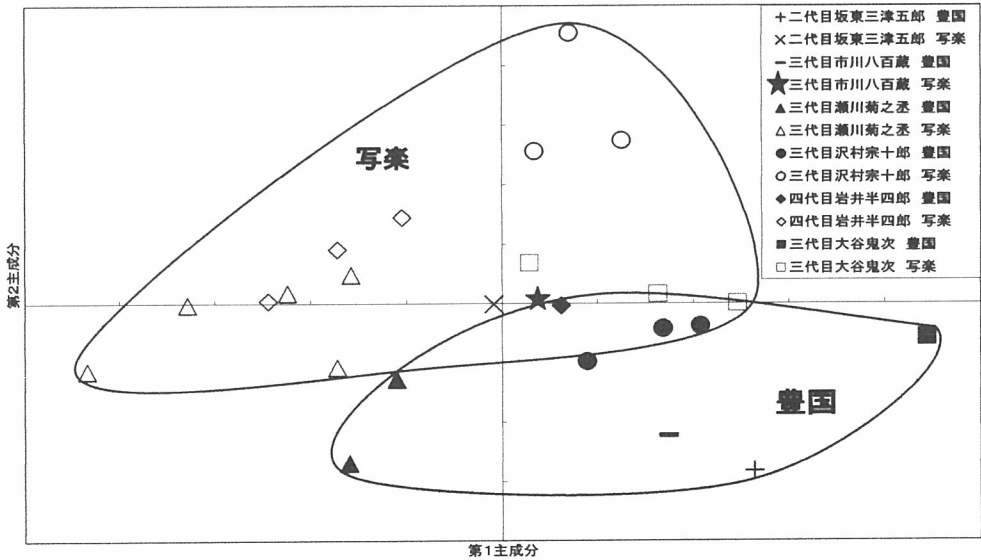


図2. 写楽と豊国の描いた顔の主成分分析結果 (相関行列)

長さに関係した変数で、顔が面長になるほど第1主成分の値は小さくなる。

このように、12種類の角度情報を用いた主成分分析では、顔を描く際の顔の横向きの程度に関し、写楽と豊国では違いがあることが明らかとなった。

したがって、この結果を見る限り、豊国が写楽である可能性は少ないといえる。

## 7. あとがき

この分析では、研究[3]の9人の絵師の描いた女性の顔の分類に有効であった37箇所の測定点とこれらの測定点を結ぶ12種類の角度の情報を分析した結果、顔の横向きの程度に写楽と豊国の顔の描き方の違いがあるという結果を得た。

しかし、分析に用いた12種類の角度の情報が、歌舞伎役者の顔(男性の顔)の分析においても適切かどうかについては、今後の研究課題として残されている。

また、難しい問題ではあるが、測定誤差が分析結果に与える影響も検討する必要がある。37箇所の測定点の位置はパソコンの画面上で計測しているが、この時の計測誤差が3点からなる角度の計算にどのような影響を与えるのか、また、主成分分析の結果にどの程度影響するのかは明らかではない。

研究すべき課題は数多く残されている。

## 参考文献

- [1] 柳亮:黄金分割—ピラミッドからル・コルビュジユまで—、美術出版社、1995.
- [2] 柳亮:続黄金分割—日本の比例—、美術出版社、1977.
- [3] 山田奨治, 早川聞多, 村上征勝, 植原和郎:浮世絵における顔表現の科学, 日本研究 第25集 pp.13-49, 2002
- [4] 梅原猛:写楽仮名の悲劇, 新潮社, 1987.